

令和3年度日本教職大学院協会研究大会 「実践研究成果発表」実施要項

令和3年度日本教職大学院協会研究大会準備委員会
委員長 露口健司

1 概要

本発表は、教職大学院の「実践研究の成果」、「プロジェクト研究の成果」、「授業における実践的な教育の成果」等を公表するとともに、今後の教員養成の高度化に向けた教職大学院の教育・研究の充実を促進し、理論と実践の融合を加速させることを目的とする。

2 実施日時

令和3年12月12日（日）10時00分～15時40分（予定）

9:30～10:00	受付
10:00～11:00	研究発表（1）
11:20～12:20	研究発表（2）
13:20～14:20	研究発表（3）
14:40～15:40	研究発表（4）

3 開催方法

zoomによるオンライン配信

4 内容等

- ・4会場で15の教職大学院が公開発表を行う。また、授業改善・FD委員会からの活動報告を行う。
- ・持ち時間は、質疑応答の時間を含めて1発表あたり60分とする。
- ・参加対象者は、小・中・高校教員や教育委員会関係者及び教職大学院関係者。
- ・発表は、教職大学院教員（必要に応じて教職大学院学生・修了者、校長等学校関係者、教育委員会指導主事等が加わることも可能）が行う。
- ・発表者以外の共同研究者は、発表概要の発表者欄には記載しない。ただし、事後の報告書には氏名を記載できることとする。
- ・資料は事前に協会ウェブサイトに掲載する。

5 発表大学院等

第1部会：山形大学 茨城大学 宇都宮大学 千葉大学
第2部会：東京学芸大学 山梨大学 金沢大学 授業改善・FD委員会
第3部会：常葉大学 大阪教育大学 奈良教育大学 和歌山大学
第4部会：島根大学 香川大学 大分大学 宮崎大学

6 その他

- ・この要項に定めるもののほか、実施に関して必要な事項が生じたときは、大会校及び企画委員会等において協議し決定する。